

日南市公共施設等総合管理計画

(個別施設計画)

その他建築物編

令和2年3月

美化推進課

1. 対象施設

平成29年度末現在、美化推進課が所管するその他建築物施設は1施設で、延床面積は1,153.50㎡となっている。

No.	施設名	所在地	総床面積 (㎡)	棟数
1	日南市葬祭場	日南市梅ヶ浜三丁目1-1	1,153.50	2

2. 計画期間

令和2年（2020年）度から令和8年（2026年）度までの7年間とし、進捗状況の結果等を踏まえて、適宜、計画を見直すものとする。

3. 対策の優先順位の考え方

(1) 施設の役割

墓地埋葬法は、墓地、納骨又は火葬場の管理及び埋葬等が、国民の宗教的感情に適合し、且つ公衆衛生その他公共の福祉の見地から、支障なく行われることを目的とする。これにより、日南市葬祭場条例第1条のとおり日南市に葬祭場を設置している。

(2) 現状と課題

日南市葬祭場は、平成3年度に完成し、使用開始後26年が経過。海岸に近い場所に建築されており、塩害による腐食や構造体ひび割れが発生している。これまでに外壁や屋根の改修等を行いながら、操業を続けている。近年は日本人の体型も大型化しており、棺の大型化に対応した火葬炉の改修が求められている。

(3) 今後の施設の考え方

火葬炉の改修や施設の補修工事を行い、遺族の方々にとって気持ちよく火葬や収骨ができるように適正な管理運営で施設の長寿命化を図る。

4. 施設の状況等

(1) 施設性能

(2017年度末現在)

No.	施設名	建築年度	経過年数	構造	耐用年数	残寿命年数 (年)	耐震		大規模改修	
							診断	改修	年度	改修
1	日南市葬祭場	H3年度	26	RC	50	24	新	新		

(注1)平成29年度末現在の状況について記載

(注2)複数の建物からなる施設については、主たる建物について記載

※構造: W=木造、RC=鉄筋コンクリート、SRC=鉄筋鉄骨コンクリート、S=鉄骨、LGS=軽量鉄骨、CB=コンクリートブロック

※残寿命年数: 耐用年数-経過年数〔基準年度-建築年度〕

※耐震診断: 新=新耐震基準(建築年がS57年以降)、済=旧耐震基準(建築年がS56年以前)であるが耐震診断実施済み、

未=旧耐震基準で耐震診断が未実施、不=旧耐震基準であるが新耐震基準で建てられているため、耐震診断不要

※耐震改修: 新=新耐震基準、済=耐震改修が実施済み、未=耐震診断未実施又は耐震改修が必要だが未実施

不=旧耐震基準であるが耐震改修が不要

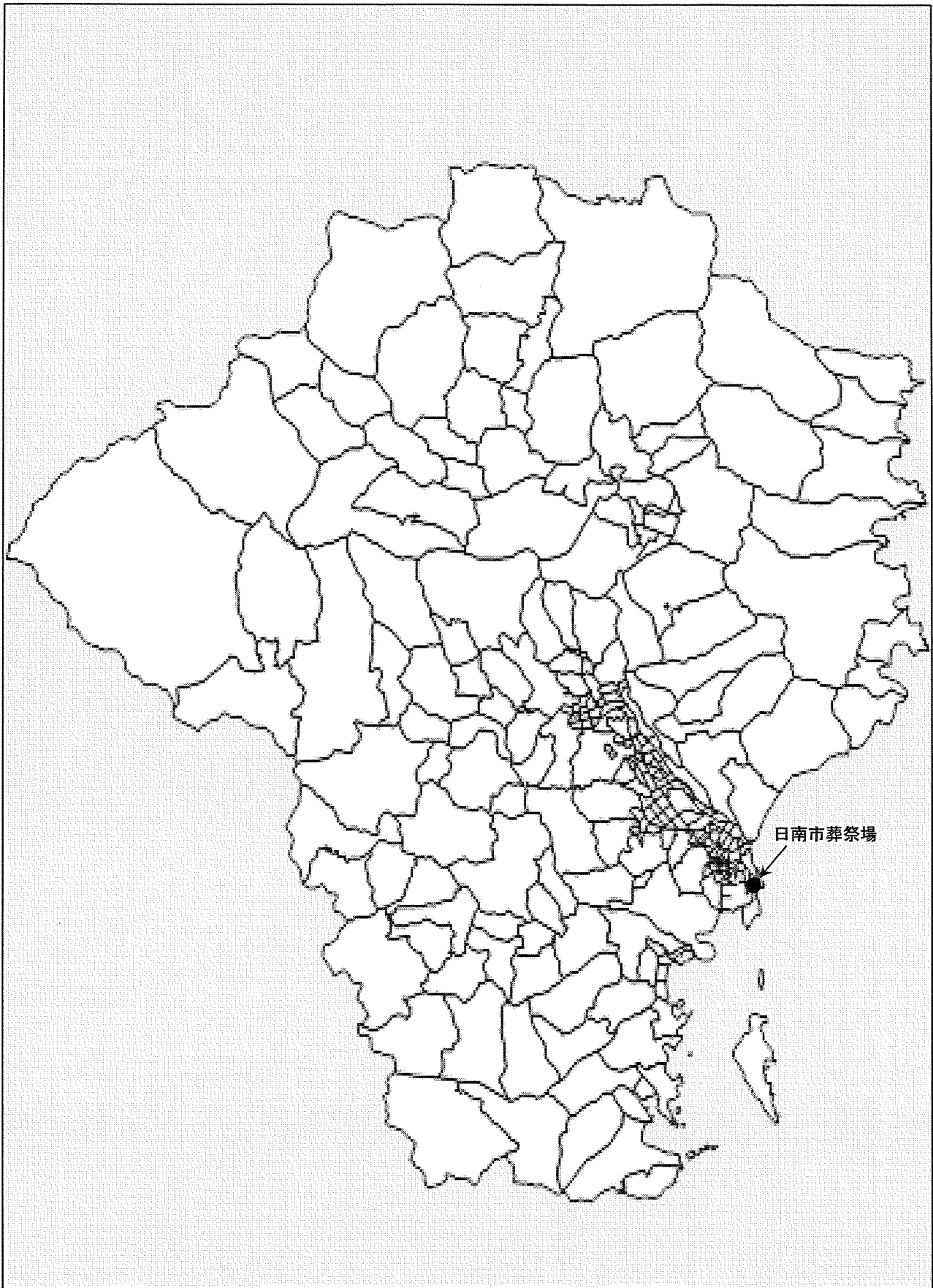
※大規模改修: 屋=屋根改修、屋上防水改修、壁=外壁改修、他=設備改修、内装その他改修

(2) 利用・運営状況

No.	施設名	総床面積 (㎡)	稼働日数 (日)	利用総数 (件)	年間コスト (円)	㎡当たりコスト (円)	1日当たり利用 件数(件)
1	日南市葬祭場	1,153.50	364	858	33,524,023	29,063	2.4

(注)稼働日数、利用者数、年間コストは、過去3年間(H27~29年度)の平均を記載

5. 施設配置状況



6. 適正化計画

現状や課題、今後の考え方を踏まえ検討した適正化計画は次のとおりとする。

(1) 今後の方針

No.	施設名	方針
1	日南市葬祭場	令和元年度以降大型炉検討を行い、炉の改修を年次的に行いながら、施設の長寿命化を図る。

(2) 計画期間内(7年)の対策内容及び対策費用

(単位:百万円)

No.	施設名	棟名称	項目	計画期間						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
1	日南市葬祭場	葬祭場	対策内容	大型炉改修	大型炉改修	大型炉改修				
			対策費用	70	70	70				
		霊灰塔	対策内容							
			対策費用							